

日本画の寄贈に伴う感謝状の贈呈について

桐生市出身の日本画家（南画家）新井滋雲氏のご親族である新井貴子様より、滋雲氏の作品4点（額装3点、掛け軸1点）をご寄贈いただいたことに伴い、感謝状を贈呈いたします。

- 日時 令和7年8月14日（木） 10:00 ～ 10:30
- 場所 桐生市教育センター 3階 教育委員会室
- 対象 新井 貴子 様（日本画家 新井滋雲氏ご親族）
- 内容 桐生市境野町出身で、「県内最後の南画家」と称される新井滋雲氏の作品4点（額装3点 掛け軸1点：詳細は別添のとおり）を境野公民館、広沢公民館にご寄贈いただいたことに伴い、桐生市長（教育部長代理）より感謝状を贈呈するものです。

なお、作品は各公民館に展示しております。

《参考》

新井 滋雲（あらい じうん）： 明治31（1898）年境野村生まれ。本名朋二郎。太田中学校を出て上京し、足利市出身の田崎早雲の弟子である館林市出身の南画家小室翠雲に入門。24歳で「秋雲無影之図」が帝展に入選。戦後、桐生で絵筆を執り続け個展を開くなどし、また社会教育や芸術文化の振興にも力を尽くす。昭和53（1978）年80歳で死去。



【問い合わせ】
教育部生涯学習課社会教育係
担当 小野里
TEL 0277-46-6465（内線2340）